



第3回八重瀬町成人式

新たな第一歩を
踏み出す

八重瀬町成人式が1月11日、東風平改善センターと具志頭改善センターの2カ所の会場で開催されました。今年には昨年と比べ4人多い403人（東風平地区256人、具志頭地区147人）が成人を迎え、大人としての新たな門出を迎えました。式典では、新成人を代表して東風平から屋富祖祝さん、具志頭から真保栄武司さんが新成人の誓いの言葉を述べました。真保栄武司さんは、はたちの誓いとして「自分を育ててくれた人たちに改めて感謝しながら大人としての自覚と責任をもってこれからがんばっていきたい」と宣言しました。色鮮やかな振り袖や羽織はかま、スーツに身を包んだ新成人たちは、式典が終わってから友人や恩師との久しぶりの再開を喜び合っていました。



新成人 新たな決意

成人の日は、新成人たちが両親や周囲の大人たちから見守られてきた子ども時代を終え、自立し、大人への仲間入りをする日です。そんな特別な成人式、新成人たちはどのようなことを感じたのでしょうか。長い人生のなかでは、成人式の記憶はあつという間に遠い過去のものとなります。でもこの日の記憶は大事にしてもらいたい。そこで、成人への第一歩を踏み出し、明日へ向かう新成人の決意を聞いてみました。



奥間 真利奈

「学業と仕事を両立できるようにがんばる。将来は立派な栄養士」



福地 未菜

「責任を持った行動ができる大人としてがんばってきたい」



徳元 有華

「人と接するのが好きなのでホテル業などの仕事を目標にしたい」



喜納 加奈江

「言葉使いを大切にしながら常識ある大人でいたい」



平仲 春香

「いろいろな人との交流を通して自分の将来をしっかり考えていきたい」



屋富祖 祝

「自衛隊の階級試験に受かるためにも勉強に励み体力もつける」



川上 元義

「青年会の活動などまち起こしができることに参加したい」



金城 栄侍

「成人としての自覚を持って間違ったことを正しく言える人になりたい」



野原 ゆい

「今まで以上に自衛官としての自覚を持ち日本のためにがんばりたい」



安次嶺 佑菜

「ウエディングプランナーの資格を取ってブライダル関係の仕事に就きたい」



親富祖 唯

「アパレルの店長になれるようにがんばりたい」



照屋 彩佳

「人の傷みがわかる大人になりたい。将来は看護師を目指します」



永山 加奈子

「社会福祉士の資格をとって児童福祉関係の仕事につきたい」



比嘉 真梨奈

「まわりから信頼されるような人を目指したい」